

平成 30 年度

一般選抜学生募集要項

(医学部医学科)

京都府公立大学法人

京都府立医科大学

京都府立医科大学医学部医学科アドミッションポリシー

京都府立医科大学は、明治5年(1872年)栗田口青蓮院に設立された療病院を起源とする日本最古の医科大学の1つであり、公立大学では唯一の旧制医科大学である。その長い歴史の中で、国際的視野に立って知を創造するとともに継承・発展させ、新たな課題に立ち向かう使命感を校風の核とし、国内外に質の高い教育・研究成果を還元してきた。

このような歴史と伝統に磨かれ形となったのが本学の掲げる教育理念、「人間愛」、「地域貢献」、「国際的視野の涵養」である。この理念に基づいて、幅広い教養、高度の専門的な知識・技術及び高い倫理観を備え、国際的な視野に立って医学研究・医療に取り組み、その成果を地域から世界へ発信できる人材の養成を行ってきたところである。

本学では、今後とも社会に貢献できる優秀な人材を輩出し、現代社会の要請に応えるため、次のような学生を求める。

- 1 生命及び人間の尊厳を重んじ、豊かな人間性と創造性を培いながら、人の命に深く関わり健康を守るという医師・医学者の職責を十分に自覚できうる人間愛にあふれ高い倫理観を持った人を求める。
- 2 「世界トップレベルの医学を地域へ」という本学の理念のもと、「学問の都」京都で国際的な視野に立って医学を学ぶことによって、地域の医療に最善を尽くすと同時に、この京都の地で次世代の医学・医療を見据えた研究を遂行し、「トップレベルの医学・医療を京都から世界へ」発信できる探究心と向上心に富んだ人を求める。
- 3 本学は多数の関係病院を有し、これらの病院との強い教育連携、研修連携をもとに、人々の健康を守る高度な専門家、医療人を育成している。これらの人材育成を通じて、医療のありかたや現状・課題を理解しながら地域医療に貢献する熱い志を持った人を求める。
- 4 本学は、自らの意思で医学を修め感性を磨き人格を陶冶する自己研鑽の場である。医療の質の向上と医学の進歩のために絶えず省察し、他の医師・医療者・研究者とともに研鑽しながら、生涯にわたって向上を続ける意欲と態度を有するような強い意志と自ら考え学ぶ力を持った人を求める。

【入学者選抜の方針】

高等学校等で学習する全ての教科が医学科教育の土台になるため、各教科において基礎学力を幅広く身につけておくこと。

その中でも、数学・理科、および国際公用語となっている英語の基礎学力は必須である。さらに、人との交流が基盤となる医療と医学研究の場では国語力が重要である。

入学試験では、一般入学試験と推薦入学試験を実施しており、筆記試験によって学力および論理的思考力などを評価し、面接では医学・医療への志や意欲を評価する。

目 次

1 募集人員	1
2 出願資格	1
3 出願手続	1
4 出願に関する留意事項	3
5 身体等に障害のある入学志願者との事前相談	3
6 入学者選抜方法	3
7 合格者発表	5
8 入学手続	6
9 その他	6
入学試験場案内	8

主 要 日 程	
大学入試センター試験	平成30年1月13日(土)、14日(日) (追試験:平成30年1月20日(土)、1月21日(日))
出願受付	平成30年1月22日(月)から 1月31日(水)午後5時まで(必着)
第1段階選抜の合格発表	平成30年2月7日(水) 午前9時
第2次学力試験	平成30年2月25日(日)、26日(月)
合格発表	平成30年3月 9日(金) 午前9時
入学手続	平成30年3月14日(水)

(注) 後期日程試験は実施しない。

1 募集人員（前期日程試験のみ） 100名

2 出願資格

入学を志願できる者は、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下、「大学入試センター試験」という。）において本学の指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校（以下、「高等学校等」という。）を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校等の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成30年3月31日までに合格見込みの者で平成30年3月31日までに18歳に達する者
- (7) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (8) その他、本学において、相当の年齢に達し、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（注）

（注）出願資格（8）による入学資格の認定を申請する者は、平成29年12月7日（木）まで及び平成30年1月15日（月）から1月17日（水）までに本学学生部学生課入試担当まで問い合わせの上、文書で照会すること。

3 出願手続

入学志願者は、「(3) 提出書類等」に記載の書類等を本学所定の封筒に封入し、(1) の出願受付期間内に到着するように書留で郵送すること。なお、郵送以外の方法による出願は受理しない。

(1) 出願受付期間

平成30年1月22日（月）から1月31日（水）午後5時まで（本学必着）。 郵送（書留）に限る。

ただし、平成30年1月29日（月）以前の消印のある書留速達郵便に限っては、期限後に到着した場合でも受け付ける。

(2) 出願書類提出先

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町4 6 5 番地
京都府立医科大学学生部学生課入試担当
電話 075-251-5167

(3) 提出書類等

所定用紙及び所定封筒（黄緑色）を使用すること。

提出書類	内 容
入学志願書	<p>本学所定の用紙に必要事項を明記すること。 なお、入学志願書の指定の位置に ①「平成30 センター試験成績請求票（前国公立前期日程用）」と ②金融機関の領収印を受けた「振込金領収証明書（大学提出用）C票」を 必ず貼り付けること。</p>
受験票及び 照 合 票	<p>本学所定の用紙に必要事項を明記し、出願前3箇月以内に撮影した、縦4cm・横3cmの脱帽、正面、上半身、単身の写真をそれぞれの所定欄に貼り付けること（裏面に氏名を記入すること。）。</p>
調 査 書	<p>①出身学校長が文部科学省指定の様式により作成し、封筒に入れ厳封したもの。 ※指導要録の保存期間経過等の理由により調査書が得られない場合は、調査書に代えて卒業証明書を提出すること。 ②高等学校卒業程度認定試験等合格者にあつては、合格（見込）成績証明書（免除科目のある場合は高等学校等の調査書又は成績証明書も必要）。 ③高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校等の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程修了者は、所定の調査書に準じて出身学校長が作成し、封筒に入れ厳封したもの。 ④外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者及び専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定したものの修了者は、当該課程の修了証明書 ⑤国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者は、その資格証書の写し</p>
入学考査料	<p>17,000円 本学所定の入学考査料振込依頼書を使用して、平成30年1月4日以降に、金融機関で振り込むこと（現金、小切手等では一切受け付けない。）。その際、金融機関から発行される「振込金領収証明書（大学提出用）C票」に金融機関の領収印があることを確認し、入学志願書の裏面の指定位置に貼り付けること。 出願書類受理後は、入学考査料は返還しない。ただし、第1段階選抜の不合格者及び大学入試センター試験受験科目の不足等による受験無資格者に対しては、17,000円のうち13,000円を返還する。返還の方法については第1段階選抜の結果を通知する際、併せて該当者に通知する。 なお、二重に振り込んだ場合及び出願書類を提出しなかった場合（出願が受理されなかった場合を含む）には17,000円を返還するので、平成30年2月28日（水）までに本学学生部学生課入試担当に申し出ること。</p>
返信用はがき (出願書類等 受理通知用)	<p>本学所定のはがきで、表に出願者の住所、氏名及び郵便番号を、裏の所定欄に出願者の氏名をそれぞれ明記し、通常はがき料金の郵便切手（62円）を貼ること。</p>
返信用封筒 (受験票返送用)	<p>本学所定の封筒で、表に出願者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、簡易書留の定形郵便物料金の郵便切手（392円）を貼ること。</p>
あて名票	<p>入学志願書の「合格通知先」に記入した住所、電話番号等を記入すること（合格通知に使用する。）。</p>

4 出願に関する留意事項

(1) 出願書類等について

- ア 提出書類等の氏名は大学入試センター試験志願票に記入した氏名を記入すること。
- イ 提出書類に記載事項の記入漏れ等の不備がある場合には受理しない。
- ウ 出願書類を提出後、大学入試センター試験受験票を再発行された者は、再発行用のセンター試験成績請求票（国国公立前期日程用）を本学学生部学生課入試担当まで書留速達で必ず送付すること。

(2) 他の入学試験への出願等について

- ア 本学の前期日程試験に出願手続を行った者は、分離・分割方式により選抜を行う他の国公立大学・学部等の前期日程試験に出願することはできない。
- イ 前期日程試験に合格し、入学手続を行った者は、公立大学中期日程試験及び後期日程試験を受験してもその合格者とはならない。
なお、国公立大学の合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、本学の可否及び入学手続等に関する情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供される。
- ウ 本学及び他の国公立大学・学部等の推薦入試の合格者は、本学に出願していても第2次学力試験を受験することはできない。
ただし、推薦入試を実施する大学・学部等の定める推薦入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除く。

5 身体等に障害のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者のうち、身体等に障害があり、受験上又は修学上の配慮を必要とする者は、本学学生部学生課入試担当まで電話等で問い合わせの上、平成29年12月7日（木）までに文書（本学指定様式。問い合わせ後に提供する。）で照会すること。

必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁しうる者との面談を実施する。

なお、平成29年12月8日（金）以降に事故等により受験上又は修学上の配慮が必要となった者は、速やかに本学学生部学生課入試担当まで申し出ること。

6 入学者選抜方法

(1) 第1段階選抜

入学志願者数が募集人員の4倍を超えた場合は、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、募集人員の約4倍の合格者を決定する。

ア 第1段階選抜に用いる大学入試センター試験の利用教科・科目は、次の5教科7科目である。

教科	科目
国語	『国語』 必須
地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」『倫理、政治・経済』
数学	『数学Ⅰ・数学A』 必須
	『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』 から1科目
理科	「物理」「化学」「生物」 から2科目
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 から1科目 (※『英語』はリスニングを含む)

(注) ① 外国語において英語を受験した場合（リスニングテストを免除された場合を除く。）は、筆記試験及びリスニングテストのいずれも受験しなければならない。

- ② 数学のうち、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校等でこれらの課程を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限る。
- ③ 地理歴史及び公民の試験時間において2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を採用する。
 なお、第1解答科目で本学が指定していない科目を受験した場合には、第2解答科目で本学が指定する科目を受験していても、本学への出願資格を満たさない。
- ④ 過年度の大学入試センター試験の成績は利用しない。

イ 第1段階選抜に用いる大学入試センター試験の配点は次のとおりである。

国 語	地理歴史、公民	数 学	理 科	外 国 語	計
200	100	200	200	200	900

(注) 外国語において英語を受験した場合（リスニングテストを免除された場合を除く。）は、筆記試験及びリスニングテストの合計得点を5分の4に圧縮する。

(2) 第2段階選抜

第1段階選抜の合格者について、大学入試センター試験、本学が実施する第2次学力試験及び面接の成績並びに出身学校長から提出された調査書を基にして第2段階選抜を行う。

ア 第2次学力試験

(ア) 受験資格

第2次学力試験を受験することができる者は、第1段階選抜の合格者とする。ただし、国立大学・学部等に推薦入試で合格した者は、当該大学・学部等が推薦入学の辞退を許可した場合を除き、第2次学力試験を受験する資格を有しない。

(イ) 第2次学力試験の日時、実施教科・科目及び試験時間

日時	平成30年2月25日（日）		
	9:00 ~ 11:30 (150分)	12:50 ~ 14:50 (120分)	15:30 ~ 17:30 (120分)
教科	理 科	数 学	英 語
科目	物理（物理基礎・物理） 化学（化学基礎・化学） 生物（生物基礎・生物） から2科目選択	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ 数学A・数学B	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ

(注) 数学Bは「数列」、「ベクトル」から出題する。

(ウ) 試験場

京都府立医科大学広小路キャンパス内 医学部看護学学舎
 (入学試験場案内(8頁)のとおり)

イ 面接

面接は、第2次学力試験の3教科全てを受験した者に対し、平成30年2月26日（月）に行い、医師及び医学研究者となるにふさわしい資質、適性を評価する。

なお、面接試験の結果によって、医師及び医学研究者となるにふさわしい資質、適性を欠くと判断されれば、大学入試センター試験及び第2次学力試験の成績にかかわらず不合格とする。

また、面接を欠席した者は、不合格とする。

面接の集合時刻や会場など詳細については、第1段階選抜の結果を通知する際、該当者に併せて通知する。

ウ 大学入試センター試験、第2次学力試験及び面接の配点

大学入試センター試験					第2次学力試験			面接	総計	
国語	物理	化学	数学	理科	外国語	数学	理科			英語
100	50	100	100	100	100	200	200	200	—	1050

(注) 大学入試センター試験の各科目の得点は、第1段階選抜で使用した得点を2分の1に圧縮する。

7 合格者発表

(1) 第1段階選抜の合格者発表

平成30年2月7日（水） 午前9時

合格者については、本学河原町キャンパス掲示板に受験番号を公示する。併せて、合格者には、合格通知に代えて第2次学力試験受験票を送付し、不合格者にはその旨文書で通知する。

(2) 第2段階（最終）選抜の合格者発表

平成30年3月9日（金） 午前9時

合格者については、本学河原町キャンパス掲示板に受験番号を公示するとともに、合格通知書、入学手続に必要な書類等を送付する（郵便事情により、合格発表当日に到着しない場合もある。）。

(3) 本学ホームページでの合格者受験番号の掲載について

上記（1）、（2）の日時以降に、本学ホームページ（<http://www.kpu-m.ac.jp/>）にも、合格者受験番号を掲載するが、ホームページでの合格者受験番号の情報提供は参考情報であるため、可否の確認は、本学構内の掲示板又は合格者に送付する合格通知書（第1段階選抜の場合は、第2次学力試験受験票）で正式に確認すること。

※ホームページでの掲載は、合格発表日時より30分程度遅れての掲載となる。また、アクセスが集中して繋がりにくい場合には、しばらく時間をおいてから再度アクセスすること。

(4) 追加合格

入学手続を完了した者の数が募集人員に満たない場合には、追加合格により欠員補充を行うことがある。追加合格該当者に対しては、平成30年3月28日（水）午前8時30分以降に、入学志願書の「合格通知先」又は「父母等の連絡先（緊急時）」に記載の電話番号に電話連絡する。その際、受験者本人から直接、入学の意志を確認するので、必ず連絡がとれるようにしておくこと。

なお、他の国公立大学に合格し入学手続きを完了した者及び本学前期日程合格者の入学辞退者は、追加合格の対象とはならない。

合格通知書、入学手続に必要な書類等は、追加合格該当者が本学の指定する日時までに本学学生部学生課入試担当に来課したときに交付する。（その際、後記「8 入学手続（6）」に記載の入学手続を行うことができる。）

なお、追加合格の有無については、平成30年3月28日（水）以降に、本学ホームページに掲載する。

8 入学手続

(1) 入学手続の日時

平成30年3月14日（水） 午前9時から午後4時まで

(2) 入学手続の場所

合格通知の際に知らせる。

(3) 入学料の納入

入学手続書類の提出に先立ち、金融機関にて、合格通知書と併せて送付する振込依頼書により入学料を納入すること。

区 分		入学料
京都府内在住者	合格者本人が平成29年4月1日以前から引き続き京都府内に住所を有する場合に限る	282,000円
上記以外の者		493,000円

(4) 入学手続時に必要なもの

- ア 京都府立医科大学入学料振込金領収証明書（大学提出用）**B票**（金融機関領収印のあるもの）
- イ 大学入試センター試験受験票及び本学第2次学力試験受験票
- ウ 誓書（本学所定の用紙に自署したもの）
- エ 住民票（平成29年4月1日以前から引き続き京都府内に住所を有する者のみ）

(5) 入学手続に関する留意事項

- ア 入学手続日に入学手続を完了しなかったときは、入学を辞退したものと取り扱う。
- イ 郵送による入学手続は受け付けない。
- ウ 納入された入学料は、返還しない。
- エ 本学への入学手続を完了した者は、その後入学を辞退して、他の国公立大学に入学手続を行うことはできない。

(6) 追加合格者の入学手続

追加合格者は平成30年3月30日（金）午後5時までに入学手続を完了すること（印鑑を必ず持参すること。）。

なお、必要な入学手続は上記と同様である。

9 その他

- (1) 本学の入学試験出願状況（倍率）について、本学ホームページ(<http://www.kpu-m.ac.jp/>)に掲載する。

掲載時期（予定） 平成30年1月23日（火）から

- (2) 授業料、入学料に加え学生教育研究災害障害保険料や学外実習費、共用試験受験料等の費用として120,000円の納入が必要。なお、これ以外の修学費用として入学後に教科書などの必要物品購入経費のほか、予防接種や学外実習に伴う旅費等の経費が必要。

○ 入試情報開示について

平成30年度入試（一般入試）の個人成績を受験者本人からの開示請求があれば、以下により開示する。

1 開示請求できる者

受験者本人に限る。

なお、本学が実施する入学選抜試験の教科・科目等を一つでも受験していない受験者は開示請求できない。

2 開示内容

① 総合点（大学入試センター試験の配点の得点合計及び第2次学力試験の得点合計）

② A、B、C、D、E及びFの6段階のランキング

（合格者に対しては、合格最高点からの得点差に基づく区分。不合格者に対しては、合格最低点からの得点差に基づく区分。）

3 請求方法

次の（1）、（2）及び（3）を同封の上、必ず受験者本人が学生課入試担当へ簡易書留で請求すること。

また、成績請求する際は、「成績開示請求(医学科)」と申込封筒の表に明記(朱書き)すること。

(1) 開示請求書

(注) 開示請求書は本学ホームページ→入試案内→学部入試情報→お知らせ、募集要項等からダウンロードすること。(平成30年5月上旬以降)

URL: http://www.kpu-m.ac.jp/doc/examination/exam_gakubu/info.html

(2) 本学受験票(受験票の返送はしないので、コピーも可。)

(3) 返信用封筒(長形3号(12cm×23.5cm)、392円切手貼付、返信先宛名明記)

(注) 1. 返信用封筒が「長形3号」以外の場合、郵便料金の不足等により、成績開示に応じられないことがある。

2. 返信用封筒は四つ折り、又は三つ折りにして同封すること。

3. 返信先宛名は必ず受験者本人とすること。(保護者宛には発送できない。)

4 請求期間 平成30年5月15日～6月15日(消印有効)

5 請求先 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路ル梶井町465
京都府立医科大学学生課入試担当 Tel 075-251-5167

6 開示時期 準備でき次第、順次、簡易書留により郵送する。なお、窓口での開示及び受け渡しは、一切行わない。(注) 請求期間後の開示請求には応じない。

<参考> 授業料等の減免について

① 授業料

年額535,800円(年2回に分けて納入)

経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合には、授業料を減免されることがある。

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用される。

② 入学料

493,000円(平成29年4月1日以前から引き続き京都府内に住所を有する者は282,000円)

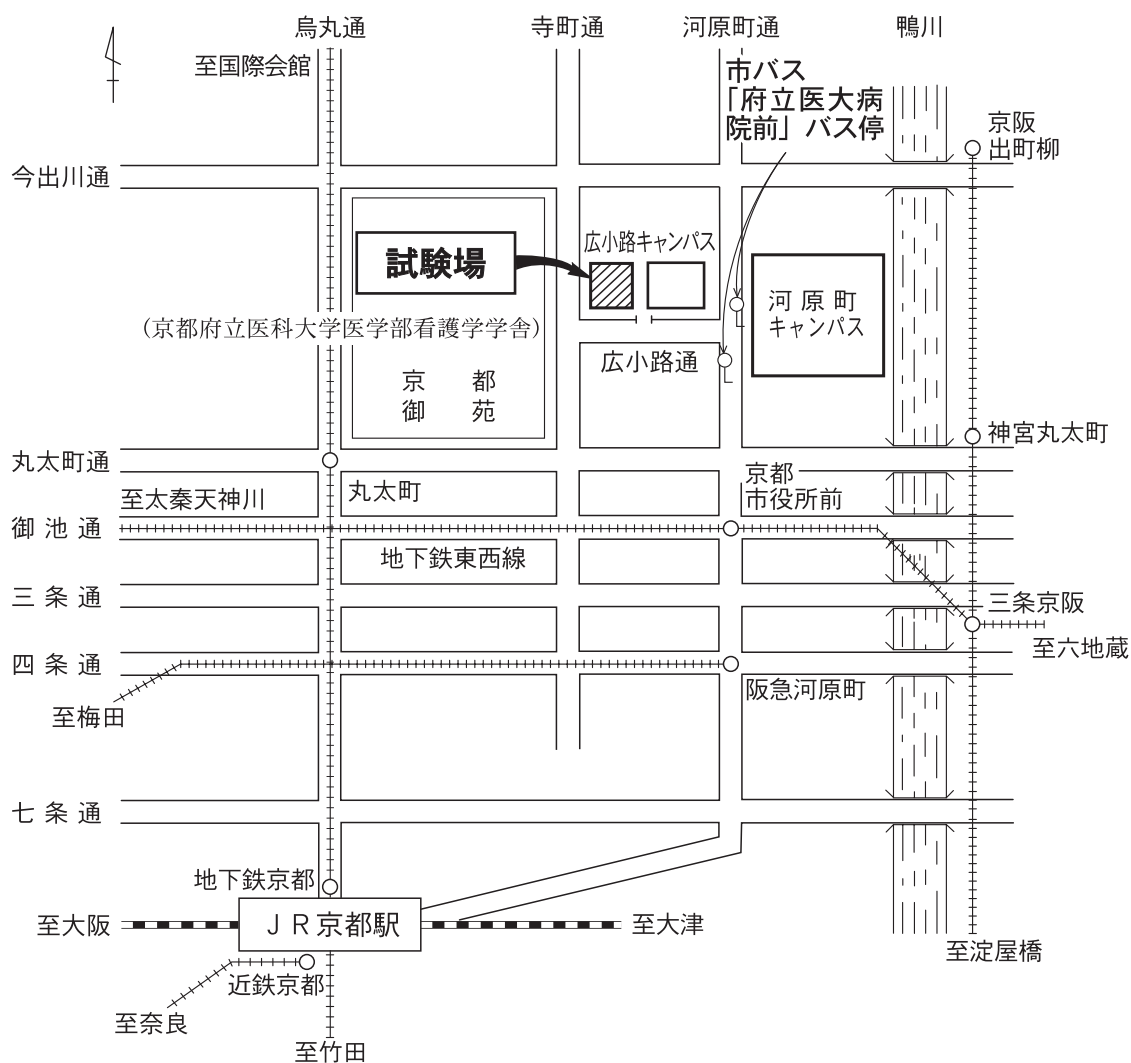
入学許可を受ける日の前1年以内に罹災する等により、入学料の納入が困難と認められる場合には、入学料が減免又は徴収猶予されることがある。

< 試 験 場 >

京都府立医科大学広小路キャンパス内 医学部看護学学舎

京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町410番地

入 学 試 験 場 案 内



— 交通案内 —

- ◆ JR京都駅から市バス4・17・205系統で約30分、「府立医大病院前」下車
- ◆ 阪急電鉄「河原町」駅から市バス3・4・17・205系統で約10分、「府立医大病院前」下車
- ◆ 京阪電鉄「神宮丸太町」駅から徒歩10分

(注) 試験場内の下見は許可しない。

入学者選抜に関する問合せ先

〒602-8566

京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465番地

京都府立医科大学学生部学生課入試担当

電話番号 075-251-5167 (直通)

問合せは、やむをえない場合を除き、志願者本人が行うこと。

